



倉敷市芸文館

ユネスコの視点から

若者と考える まちづくりの 未来



公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
倉敷ユネスコ協会



倉敷ユネスコ協会は、地元企業、行政と連携し、ミドル・シニア世代がユース世代の意見に耳を傾け、ユース世代の価値観を学び、ユース世代と共に平和への新たなアプローチを模索するとともに、持続可能な次世代の人材の発掘や育成を図ります。



2025年度 中国ブロック・ユネスコ活動研究会 in 倉敷

大会テーマ「ユネスコの視点から若者と考えるまちづくりの未来」

主催：公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 / 中国ブロック・ユネスコ連絡協議会 / 岡山県ユネスコ連絡協議会 / 倉敷ユネスコ協会【主管】

協賛：倉敷市 / 倉敷市教育委員会 / 岡山県 / 岡山県教育委員会 / 一般社団法人 岡山県国際交流協会 / NPO法人 岡山県国際団体協議会 (COINN) / 倉敷商工会議所 / 山陽新聞社 / 朝日新聞 岡山総局 / 読売新聞 岡山支局 / 毎日新聞社 岡山支局 / 産経新聞社 / NHK 岡山放送局 / RSK 山陽放送 / OHK 岡山放送 / RNC 西日本放送 / KSB 瀬戸内海放送 / TSC テレビせとうち / 倉敷ケーブルテレビ / oni ビジョン / FM 岡山 / FM くらしき / レディオ モモ

会場：倉敷市芸文館アイシアター・202会議室 / 大原美術館・倉敷国際ホテル / 倉敷美観地区

「令和7年度 倉敷市中心市街地活性化まちづくり事業補助金」を活用しています

開催趣旨

テーマ：ユネスコの視点から若者と考えるまちづくりの未来

ロシアのウクライナ侵略やイスラエル・パレスチナ情勢など、国際平和を脅かす深刻な事態は、これまで取り組んできた平和へのアプローチの破綻を私たちに突きつけました。今、様々な価値観が大きく変わろうとする中、ユース世代を巻き込んだ新たな平和へのアプローチや、多様性を受け入れる企業や未来を描く行政と連携した取り組みへの転換が求められています。

また、持続可能な開発のための教育 ESD も、ユース世代の描く未来をミドル・シニア世代が受容・承認し、ミドル・シニアが次世代に残したい矜持をユース世代が受け入れられる言葉に言語化し次世代へ渡す丁寧な作業が求められています。

そこで、私たちは「中国ブロック・ユネスコ活動研究会」をきっかけに、ユース世代の意見に耳を傾け、ミドル・シニアが共にまちづくりの未来を考えるとともに、次世代のまちづくり人材の発掘・育成を図る内容に取り組みます。テーマは「ユネスコの視点から若者と考えるまちづくりの未来」としました。

今回のユネスコの視点とは、2011年にユネスコが勧告した「HUL (Historic Urban Landscape)」です。この都市遺産保全への新たなアプローチは解釈が難しく、日本では大きな成果を上げている地域はまだありません。今後私たちが積極的にHULに取り組む意味でも、HULの考え方を若者と共に学び、企業や行政と一緒に、ユネスコの視点から様々なまちづくりの未来を考えるプログラムを軸にしました。

大会概要

会場：倉敷市芸文館（倉敷市中央1丁目18-1）

■大会第1部：[倉敷市芸文館アイシアター]

12:00-14:40

■オープニング【子ども備中神楽】

■開会式

・開会宣言 ・主催者挨拶 ・祝辞

■中国ブロック ESD 活動顕彰

■日本ユネスコ国内委員会報告

■日本ユネスコ協会連盟報告

■青年会員発表

■ユースセッション：[倉敷市芸文館 202 会議室]

12:30-14:40

■パネリスト発表

- ①倉敷美観地区のまちづくりを考える：清心女子高校2年 荻谷そら
- ②矢掛のまちづくりを考える：岡山大学4年 山下優佳
- ③備中と道の意義と活用方法：吉備国際大学3年 平賀一太

■分科会：若者が考えるまちの未来

- ①伝統建築物保存とまちづくり
- ②街道と宿場町のまちづくり
- ③地域連携により掘り起こす文化財

■ふりかえり

■大会第2部：パネルディスカッション [倉敷市芸文館アイシアター]

14:50-17:10

■まちづくりにおけるユネスコのHULという視点：

ノートルダム清心女子大学 准教授 成清仁士

■パネリスト発表

- ①倉敷美観地区のまちづくりを考える：清心女子高校2年 荻谷そら
- ②矢掛のまちづくりを考える：岡山大学4年 山下優佳
- ③備中と道の意義と活用方法：吉備国際大学3年 平賀一太

■ユースセッションの成果発表

- ①伝統建築物保存とまちづくり分科会 成果報告
- ②街道と宿場町のまちづくり分科会 成果報告
- ③地域連携により掘り起こす文化財分科会 成果報告

■ミドル・シニアのコメント

- ①倉敷市まちづくり推進課 主任 桑田恭兵
- ②萩原工業(株) 経営企画室長 吉田淳一
- ③NPO 法人 倉敷町家トラスト 代表理事 中村泰典
【2013年度プロジェクト未来遺産認定】
- ④備中と道トレイル推進協議会 事務局長 金子晴彦
【2023年度プロジェクト未来遺産認定】
- ⑤ノートルダム清心女子大学 准教授 成清仁士

■総評：おかやまアナウンス・ラボ(株) 代表取締役 森田恵子

■閉会式

・次回開催地挨拶 ・閉会宣言



倉敷市芸文館

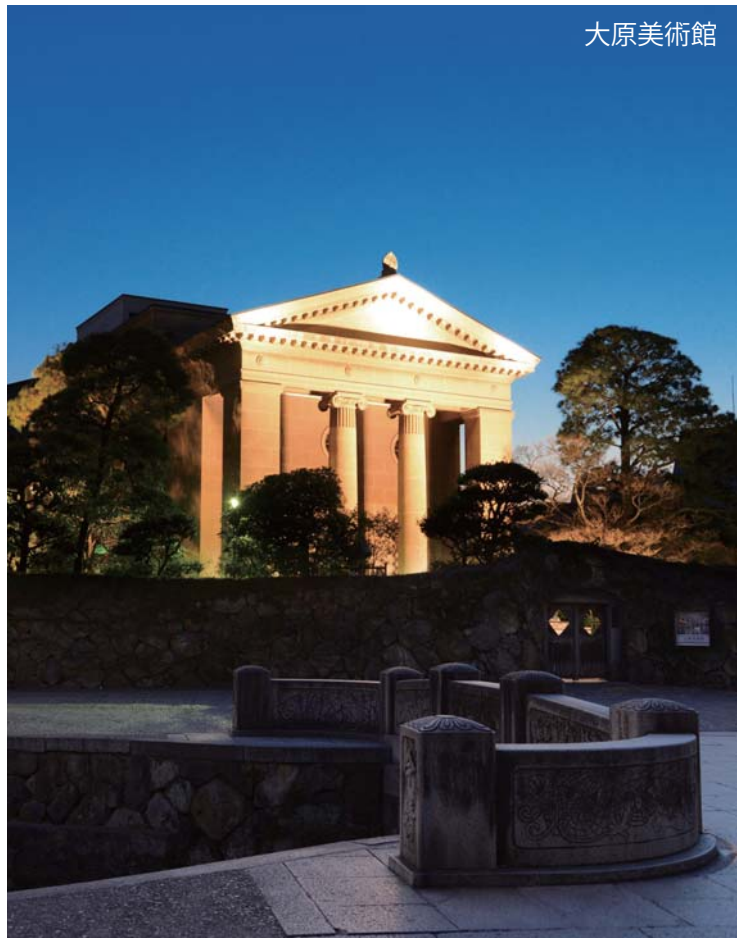
交流会Ⅰ

テーマ：「倉敷を戦災から守った？美術館」

■大原美術館イブニングツアー（倉敷市中央1丁目 1-15）：[貸切・解説員のアテンドにより観覧・定員 50名 抽選]
17:30-18:30 ※対象は交流会Ⅱへ申込まれた方のみ参加いただけます。交流会Ⅰだけの参加申込みはありません。

倉敷市にある大原美術館は、2025 年に創立 95 周年を迎える日本最初の西洋美術中心の私立美術館です。戦争中、倉敷が空襲を免れたのは、人類共通の財産である世界的な美術品や絵画を爆撃で焼失させるなという連合軍司令部の指示で爆撃目標から外されたためと言われています。しかし、リットン調査団が 1932 年に美術館に来たのは確かですが、それ以上の記録はありません。美術館は戦時中も客を受け入れていました。「若き特攻隊の人たちが、故郷で最後に過ごす場所として大原に来ていた。敵国の絵に囲まれて最後の時をその人たちは過ごした」と大原総一郎はエッセーに書き残しています。戦争末期、水島空襲を経て、岡山空襲の翌日、貴重な美術品を守ろうと、およそ 30 キロ離れた足守地区にある農家の蔵に作品を疎開させました。疎開した作品はおよそ 1 年後に無事、美術館に戻り、今も鑑賞することができます。

25人を2グループ（50名抽選）で順周り・逆回りで同時進行。参加者には翌日工芸・東洋館と児島虎次郎記念館を利用いただけるチケットをお渡し(エクスカーション②) できます。終了後、来倉された秋篠宮佳子さまが通られた「佳子さまロード」を通して倉敷国際ホテルに。



大原美術館

交流会Ⅱ

テーマ：「大世界の柵<坤>人類より神々へ」

■倉敷国際ホテル（倉敷市中央1丁目 1-44）：[ロビーで棟方志功の作品を鑑賞し、食事へ]
18:40-20:35

倉敷国際ホテルロビー

倉敷国際ホテルの歴史は、1963 年（昭和 38 年）に地元政財界の要望を受けて、大原総一郎氏が「ウィークエンドハウスのような風格のある小規模ホテルを」というコンセプトで設立したことに始まります。倉敷の風土に溶け込むよう、和と洋が融合したデザインは、建築家 浦辺鎮太郎氏によって「民藝」をテーマに手掛けられ、1964 年には日本建築学会賞を受賞しました。創業以来、国内外の賓客を迎える迎賓館としての役割も果たし、倉敷の文化を伝えるランドマークとして、また市民の憩いの場として親しまれています。

ホテルのロビーに展示されている版画は、棟方志功（1903-1975）が手掛けた中でもっとも大きな作品です。木版画としては世界最大の大作です。この「大世界の柵<坤（こん）>人類より神々へ」はピカソの「ゲルニカ」に触発され作ったと言われています。作品をロビーで鑑賞し食事へ。食事会場：倉敷国際ホテル 1F 藤の間にて





翌日のエクスカージョンを用意しております
倉敷を満喫してください

エクスカージョン ① テーマ：「テーマを持って倉敷を巡る」

■まち歩きを楽しもう～大学生と巡る倉敷美観地区（定員 45 人（15人×3 グループ）**申込みが必要です**）

10:00-12:30

前日のパネルディスカッションのテーマに合わせて3つのまち歩きを用意しました。

テーマを持って歩くと倉敷の違う一面が見えてきます。

集合場所：倉敷公民館前（倉敷市本町 2-2-21）

10:00-10:30 受付・グループ分け・注意事項・無線の配布

10:30-12:30 グループ毎に出発・散策・解散

■テーマ①：伝統建築物を巡るまち歩き

仮）「井上家住宅～語らい座大原本邸～大橋家住宅」

■テーマ②：街道を辿るまち歩き

仮）「東町～本町～阿知 3 丁目～川西町へ」

■テーマ③：HULのレイヤーを巡るまち歩き

まち並み保存の現状とこれから（HULアプローチを考える）

【企画・担当】NPO 法人 倉敷町家トラスト・代表理事 中村泰典



◆ 1 グループの定員がございますので定員を越えた場合は希望とは別のテーマで参加いただくことがあります。

エクスカージョン ② テーマ：「大原アートを堪能する」

■大原美術館：工芸・東洋館 / 児島虎次郎記念館（50 人：大原美術館イブニングツアー参加者対象）

以下の開館時間内にご自由にどうぞ（**申込みの必要はありません**）

前日の交流会 | 大原美術館イブニングツアーに参加された方には翌日工芸・東洋館と児島虎次郎記念館をご利用いただける無料チケットを用意しております。

9:00 ～ 17:00 工芸・東洋館（大原美術館内）

10:00 ～ 16:00 児島虎次郎記念館（倉敷市本町 3-1）

工芸・東洋館（大原美術館内）



児島虎次郎記念館

